

令和5年度社会福祉施設BCP策定支援研修

～福祉避難所指定社会福祉施設のBCP策定モデル施設完成報告会～

開催要項

目的

近年、多発する大規模災害の教訓から要配慮者を支援する福祉避難所の役割はますます重要なものとなり、多くの社会福祉施設等が、市町村の福祉避難所に指定されています。

福祉避難所となる施設は、災害時には利用者の支援と避難者への対応が同時に求められ、市町村や地域組織との連携をはじめとした平時からの備えが不可欠となります。

本報告会では、モデル施設の策定状況を踏まえ、社会福祉施設と市町村がBCP策定にあたっての理解を深め、災害時における要配慮者への迅速な対応に備えることを目的に開催します。

日時

令和5年11月6日(月) 13:30～16:00 (開場13:00～)

会場

日本海新聞社中部本社ホール(倉吉市上井町1丁目156番地)

対象者

- 社会福祉施設の職員等関係者
- 市町村の福祉避難所担当課職員、BCP策定支援担当課職員等関係者

日程・プログラム

13:30	開会	あいさつ・オリエンテーション
13:40	報告	モデル施設におけるBCP策定状況①(地震) <報告者>社会福祉法人鳥取福祉会 特別養護老人ホーム若葉台
14:10	まとめ・講義	<講師> 佛教大学 専門職キャリアサポートセンター専任講師 後藤至功 氏 (モデル施設指導講師)
14:30	休憩	
14:40	報告	モデル施設におけるBCP策定状況②(風水害) <報告者> 社会福祉法人あすなろ会 介護老人福祉施設美和あすなろ
15:10	まとめ・講義	<講師> 同上
15:30	質疑応答	
16:00	閉会	

講師

佛教大学 専門職キャリアサポートセンター専任講師／特非・さくらネット理事

後藤至功（ごとうゆきのり）氏

講師プロフィール

<支援活動の主な経歴>

1995年 阪神淡路大震災にて全壊被災（兵庫県宝塚市）
避難所・仮設住宅・復興住宅を経験。同年、兵庫県社会福祉協議会へ入局〜この間、ナホトカ号流出事故、台風23号、新潟中越地震等の支援活動〜

2005年 兵庫県社協を退職、コラボねっとへ

2009年 佛教大学へ。同年、台風9号水害の支援活動

2011年 東日本大震災の支援活動。（その後、定期的に復興支援活動を展開）

2015年 茨城県常総市の水害支援活動

2016年 熊本地震・南阿蘇村、益城町にて支援活動を展開（現在に至る）

2018年 大阪北部地震、西日本豪雨災害支援活動を展開（現在に至る）

2019年〜「医療的ケア児・者減災支援ネットワーク」、「コロナ対策・届けるプロジェクト」（事務局：さくらネット）を組織化

2020年 九州豪雨災害・人吉市、球磨村への遠隔支援活動を実施

<その他経歴>

堺市、京都市、茨木市、京田辺市等の避難所運営ガイドライン・マニュアル等、検討委員会・助言者、内閣府・防災における女性のリーダーシップ推進に関する検討会委員、京都市国民保護協議会委員、伊丹市福祉対策審議会委員、群馬県・大阪府・岡山県等BCP策定事業スーパーバイザー等



参加申込

別添「参加申込書」に必要事項を記入し、本会へメールまたはFAXでお送りください。

【申込期限】 **令和5年10月25日（水）まで**

※「参加申込書」に記載された個人情報は、本研修会の参加者受付や連絡、参加者名簿の作成以外には使用しません。

お問い合わせ先・申込先

鳥取県社会福祉協議会 鳥取県災害福祉支援センター（担当：寺谷・白鳥）

〒689-0201 鳥取市伏野 1729-5

TEL 0857-30-6367 FAX 0857-59-6341

メールアドレス saigai-c@tottori-wel.or.jp